

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1111

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島経済大学			科目開講 キャンパス	本学	
2. 科 目 名	正式科目名	メディア・リテラシー メディア特性の理解と表現			クラス名	
	副題				配当年次	2
					受入学年	2年以上
	旧科目名					
	学問分野	番号	26	名称	社会科学系の情報	
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	土屋 祐子・メディアビジネス・准教授					
4. 単 位 数	2単位		5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2018年4月12日（木）～2018年7月26日（木） 木曜日 10:45 ～ 12:15					
個別開講日	1回目 4/12	2回目 4/19	3回目 4/26	4回目 5/10	5回目 5/17	6回目 5/24
	7回目 5/31	8回目 6/7	9回目 6/14	10回目 6/21	11回目 6/28	12回目 7/5
	13回目 7/12	14回目 7/19	15回目 7/26	16回目 /	試験日 /	
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	制限なし (人)		9. 定員超過時の 選考方法	なし		

10. 科目内容・ 授業計画	メディア・リテラシーは、文字の読み書き能力を発展させた「多様なメディアを読む（理解する）書く（伝える、表現する）」ことができる社会的なコミュニケーション力です。Facebook、Line などの相互交流的なソーシャル・メディアも盛んとなり、マスメディアの「受け手」であると同時に誰もが「送り手」となる情報環境が生まれています。メディアを理解すると同時に、メディアで表現し、個人が主体的に社会と関わっていくための素養がより重要になっています。こうした能動的で豊かなメディア活用・表現力はビジネス、地域振興の場でも必要とされています。		
	授業では、みなさんの「受け手」「送り手」双方の力を身につけることを前提に、私たちを取り巻くメディアの特性やしぐみを学びます。映像分析や放送局からのゲストの講義の記事にまとめるワークショップ（参加型体験学習）にも取り組みます。課題については次週の授業で解説を行います。また、記事を書く課題は、授業の中で学生同士相互評価を行います。		
	第 1 回 オリエンテーション		
	第 2 回 メディアリテラシーの展開（1）日本		
	第 3 回 メディアリテラシーの展開（2）外国		
	第 4 回 メディアとは何だろう（1）メディア日記を作成する		
	第 5 回 メディアとは何だろう（2）メディア日記を考察する		
	第 6 回 私たちのメディア環境（1）放送の歴史的生成		
	第 7 回 私たちのメディア環境（2）日本型放送・新聞		
	第 8 回 私たちのメディア環境（3）日本型ジャーナリズム		
	第 9 回 ワークショップ（1）放送局ゲスト講師による＜記者会見＞を取材・記事にする		
	第 10 回 ワークショップ（2）＜記者会見＞を振り返る		
	第 11 回 私たちのメディア環境（4）ウェブと送り手の多元化		
	第 12 回 これからのメディア・リテラシー（1）オルタナティブ（もう一つの可能性）のデザイン		
	第 13 回 これからのメディア・リテラシー（2）共感のメディア		
	第 14 回 これからのメディア・リテラシー（3）身体とメディア		
第 15 回 まとめ			
11. 試験・評価方法	定期試験を実施します(出席回数が総授業回数の3分の2に満たない場合には、定期試験の受験は認められません)。 定期試験 60%、授業課題 30%、授業への参加度 10%で評価します。		
12. 別途負担費用			
13. その他特記事項	私語は他の受講者への迷惑となるため禁止します。積極的な授業への参加が求められます。メディア表現や新しいメディアへの知的好奇心を持って授業に臨んで下さい。		
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否